

INFORMATION

No.2021.37
2022年3月

新規実施項目のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
この度、新たな検査項目の受託開始について、下記の通りご案内いたします。
健康と医療の未来に貢献すべく、より良い検査サービスのご提供に努めてまいります。

謹白

記

■ 実施日 2022年3月31日(木) ご依頼分より

■ 新規項目内容一覧

項目コード	検査項目 JLAC10	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査 方法	基準値 (単位)	備考
2879	IGF-1 (ソマトメジンC) 4A015-0000-023-053	血清 0.5	① 真空 採血管	冷蔵 (21日)	3~5	218 ※4	ECLIA	裏面参照	年齢を明記してください。

※4：生化学的検査(Ⅱ)判断料

※基準値は今回中止の項目コード 2082 ソマトメジンC と同一です。検査項目一覧87頁を参照してください。

■ 今回の新規項目受託開始に伴い、下記項目の受託を中止させていただきます。

検査項目一覧 掲載頁	項目 コード	項目名	受託中止日
73	2082	ソマトメジンC	2022年3月30日(水) ご依頼分をもって受託中止



一般社団法人

福岡市医師会臨床検査センター

〒814-0001 福岡市早良区百道浜1丁目6番9号 TEL(092)852-1506 FAX(092)852-1511

● IGF-1 (ソマトメジンC)

血中IGF-1をnon-RIA 試薬を用いて測定する検査です。

IGF-1 (Insulin-like Growth Factor I) はソマトメジンCとも呼ばれ、GH (Growth factor Hormone ; 成長ホルモン) の作用により主に肝臓で産生されるホルモンです。

GHの分泌異常を反映するため、先端巨大症や下垂体性巨人症では高値を示し、下垂体機能低下症や成長ホルモン分泌不全性低身長症(下垂体性低身長、成長ホルモン欠損症)では低値を示します。そのため、GH分泌不全・分泌過剰疾患の診断やモニタリングに有用であり、「先端巨大症および下垂体性巨人症の診断と治療の手引き」には診断基準のひとつとして記載されています。

IGF-1はGHに比べ、運動やストレス、睡眠、食事の影響をほとんど受けず、結合タンパクと結びついていることから血中半減期が長く、日内変動が少ないとされています。一方で、年齢や性別によって変動がみられるため、血中IGF-1値を評価する際は、健康人の年齢、性別基準と照らし合わせて判断する必要があります。

▼検査要項

検査項目名	IGF-1 (ソマトメジンC)
項目コード	2879
検体量	血清 0.5 mL
容器	①真空採血管
保存方法	冷蔵
所要日数	3~5日
検査方法	ECLIA
基準値	下記参照
検査実施料	218点 (「D008」内分泌学的検査「42」)
判断料	144点(生化学的検査(Ⅱ)判断料)
備考	年齢を明記してください。

[2879] IGF-1 (ソマトメジンC) 年齢別・性別における基準値

(単位: ng/mL)			(単位: ng/mL)			(単位: ng/mL)		
年齢(歳)	男性	女性	年齢(歳)	男性	女性	年齢(歳)	男性	女性
0	11~149	15~154	26	119~329	146~336	52	86~242	78~213
1	14~148	23~186	27	116~322	141~328	53	85~240	77~212
2	18~154	32~213	28	114~315	137~320	54	84~239	76~211
3	24~164	40~227	29	111~309	133~312	55	84~238	75~210
4	32~176	48~238	30	109~303	129~304	56	83~237	74~208
5	44~193	56~252	31	107~297	126~297	57	82~236	73~207
6	55~215	69~287	32	105~292	122~290	58	81~235	72~205
7	63~247	89~357	33	103~287	119~283	59	80~233	71~203
8	72~292	111~438	34	102~283	115~277	60	79~232	70~201
9	84~350	133~517	35	100~279	112~271	61	77~230	69~198
10	99~423	155~588	36	99~275	109~265	62	76~228	68~196
11	113~499	175~638	37	97~272	106~260	63	75~226	66~194
12	125~557	188~654	38	96~269	103~254	64	73~224	65~191
13	133~579	193~643	39	95~266	100~250	65	72~221	64~188
14	138~570	193~625	40	94~263	98~245	66	70~219	62~186
15	141~552	192~614	41	94~261	95~240	67	68~216	61~183
16	142~543	192~611	42	93~259	93~236	68	66~213	60~180
17	142~540	191~599	43	92~257	90~233	69	65~209	59~177
18	142~526	188~574	44	92~255	88~229	70	63~206	57~175
19	143~501	182~539	45	91~253	87~226	71	61~202	56~172
20	142~470	175~499	46	90~250	85~224	72	58~198	55~170
21	139~436	168~459	47	90~250	83~221	73	56~194	54~167
22	135~405	161~425	48	89~248	82~219	74	54~190	53~165
23	131~379	155~397	49	88~246	81~218	75	52~185	52~163
24	128~356	151~375	50	87~245	80~216	76	50~181	50~160
25	125~337	147~358	51	87~243	79~215	77	48~177	49~158

●参考文献 Isojima T, et al : Endocr J 59 (9) : 771~780, 2012. (臨床的意義参考文献)